

あんどくりすの防災四季だより

第32回 放送日：2019.11.8（金）

パーソナリティー：あんどくりす



テーマ：台風19号を体験して

「命を守る」という大切なことに役立つのは、
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどくりす」さんが、
防災・減災の方法を楽しく導きます。

台風19号

こんな事があったけれど、
どうすれば良かったの？

この番組のディレクター近藤さんとお
さらいします。





台風19号は、
思いがけないほどの甚大な被害を
各地にもたらしました。



本日は、
この番組のディレクター
近藤さんと一緒に

実際、こんな事があったけれど、
どうすれば良かったの？

というようなことについて
お話ししたいと思います。

近藤ディレクター、
今日はよろしくお願いします。



はい、よろしくお願いします。



窓ガラスは、割れる



みなさんが買い求めて、養生テープが売り切れ！ と話題になって、台風の後にも気にされている方が多いとお聞きしたのですが？



はいそうですね。
「台風が近づいてくる。では、何を備えよう？」
という中のひとつとして、

「窓ガラスが割れたら怖いな。」
ということがありました。

それについてインターネットで話題になっていたのが、
養生テープを※印に貼ると良い。
ということだったのです。

賛否両論で、
養生テープを貼ることで強度が落ちるよ。
などという話もありました。



効果はあるの？ 養生テープ



私の家では、
段ボールを貼っていただけなんです。
実際のところは、どうなのですか？



はい
窓ガラス、
昔は風圧で割れることもありました。

テープや新聞紙で補強などの対策が、
あったりしたようです。

今の窓ガラスは、

風圧には一応耐えられる。
というふうには言われているんです。





台風で窓ガラスが割れる原因は、

強風で飛ばされてくる、
瓦や小石などの飛来物です。

飛来物が当たれば、
厚みのあるしっかりしたガラスでも

やっぱり
割れてしまうことは防げない。
とされています。

雨戸やシャッターが無いと
防ぐのは難しく、

ぜったい必要だと言われています。



飛散防止の手段



雨戸やシャッターはなくて
ガラス窓だけなのだけど、
どうしたら良いの？

ということもありますよね。

その時には、
割れた時の飛散防止という意味で、
テープを貼ることになるのです。



普段から、地震対策として、
飛散防止テープを貼っておいていただければと
思います。

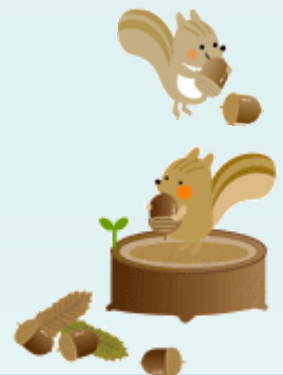


ありますね、フィルムですよね？
飛散防止フィルム。



はい。
普段から備えておけば、
改めて貼らなくても良いので、

ぜひ実行していただければ
というふうに思っています。



後日、はがせる 1



ただ、賃貸の家ですと、
はがせなくなるからできない。
ということがありますよね。



あ、そうか！ そうですね。



なので、仕方がないので（；—_—）

養生テープでしたら、
あとではがせるから貼ってくださいね。

という話をしています。

ガラスの強度の問題などもありますが、

飛来物があったらもう、
どうしても割れちゃうのです。

なので、
飛散防止をするために、
養生テープを全面に貼ってしまう。

ちょっと見栄えはよろしくないですが。（笑）



はがすと、
今まであったヨゴレも落ちるので、

それが、ま、ちょっとメリットかな。(笑)

試しに
6カ月くらい貼りっぱなしにしている、
養生テープがあるんです。

時々様子を見て、
まだはがせる (^O^v とかね。

大掃除の時まで
ほったらかしておこうと思っています。(^-)-☆



後日、はがせる 2



窓の断熱の為に気泡緩衝材（※）を用いた、シートがあります。

多くは水で接着するもので、後ではがせます。

この断熱シートをとりあえず貼って、冬もずっと貼りっぱなしにしておく。という手もあります。

部屋の中の暖房効率（夏は冷房効率）を上げることもできます。

その時慌てて貼るとか、しかも ※印・×印 に貼るだけというのは、あまりお勧めできません。



備えは日頃から！ という所ですね。

（※）良く使われる言い方
プチプチ®（川上産業株式会社の商品名）



ハザードマップの見方



私の家は、比較的多摩川の近くにあります。

浸水想定区域ではなかったなので、避難はしませんでした。

ところが数十メートル先は、浸水が想定されている区域なのです。



避難するべきかどうかを、とても悩みました。



なるほど、そうですね。

想定どおりではないことが、各地で多く起きています。

まず、避難するかどうかは、

ハザードマップをきちんと見て判断しましょう。



想定雨量を見よ！



ハザードマップをきちんと見るには、
注意点があります。

みなさん、色ばかりに注目して、

浸水区域か、否か？
セーフ！ ってことで見ちゃうんです。



あ、そうです。そうそう。(^▽^;)



ハザードマップには、
想定の水位、想定雨量というのがあります。

東京都ですと、
東海豪雨を基本にしている場合が多いです。(※1)





総雨量が589mm
1時間の雨量が114mmという想定です。



例えば114mmを超えてしまったら、

ハザードマップ上では何ともない区域でも、
浸水する可能性があります。

ご覧になっているハザードマップの

想定雨量の
数値を知っておかないと

良い判断、対応はできません。

(※1) 東京都建設局河川部 PDF資料より

東海豪雨(2000年9月)は、
時間最大雨量 114mm 総雨量 589mm

想定最大規模降雨は、
時間最大雨量 153mm 総雨量 690mm



内水氾濫



川が溢れなくても、浸水は起こります。

都市部で急に大雨が降ると、排水がうまくいかなくて浸水することがあります。

このような浸水を、内水氾濫と言います。

横浜市では、内水氾濫のハザードマップを作っています。（※2）

雨が1時間に76.5mm降ったら、内水氾濫が始まりますよ。などと、



はっきりした数値も出しています。

あ、超えた！ と、判断して、避難しやすかったりしますよね！？



そうですね～。あ、そうかあ。

ハザードマップ、色でだけしか見ていなかったのだから家に帰って、しっかり読み込みます。



（※2）横浜市 内水ハザードマップ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/gesuido/bousai/naisuihm.html>

早めに逃げよう！ を実践



今回の台風では、
江戸川区の体の不自由な方々が、

早めに避難しよう！
を実践。頑張られたそうです。



車椅子の方がいるとか、
ケアをしてくれる人が必要な方々は、

自分たちで逃げようと思っても、
困難なのです。

早い段階で、
介護者らと連絡を取り合い、

最終的には、一日前に避難されていました。

取り越し苦労でもいいから、
とりあえず避難してみる。

これは、なかなかできないことなのです。が、

練習だと思ってやってみる。ということも
大事なのかなと思っています。





今日は、
番組ディレクターの近藤さんに

台風対策の気になる部分
をお聞きしてみました。

皆さんも、
スーパー台風の襲来で、

どうすれば良かったの？
こんなふうには防いだ／避難した

などがありましたら、

お便りをお寄せください。



FM西東京 お問い合わせURL
あんどうりすさんへのメッセージや質問はこちらから

<http://842fm.west-tokyo.co.jp/mailform2.shtml>



(TEXT/はしも)